

SPECTRA WX25

Installation Guide

V1.0J

canopus

ご使用前に

■絵表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れのある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れのある内容を示しています。



この記号はしてはいけないことを表しています。



この記号はしなければならぬことを表しています。



この記号は気をつける必要があることを表しています。

■ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノープス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

カノープス株式会社

〒651-2241

神戸市西区室谷1-2-2

テクニカルサポート

TEL. 078-992-6830

祝祭日および当社指定休日を除く月～金

10:00～12:00、13:00～17:00



警告



●製品のご利用についての注意事項

医療機器や人命に関わるシステムでは、絶対にご利用にならないでください。製品の性質上、これらのシステムへの導入は適しません。



●製品の取り付けおよび取り外しに関する注意事項

製品の取り付けおよび取り外しを行う場合必ずパソコン本体および周辺機器の電源を切り、さらに電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行ってください。

パソコン本体および周辺機器の電源を入れたまま製品を取り付けたり取り外したりした場合、製品やパソコン本体、周辺機器および周辺機器に接続されている機器の一部が破壊される恐れがあります。また、パソコン本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜かずにパソコン本体や周辺機器の筐体(電源ユニットなど)、機器の金属部分に触れた場合には感電する恐れがあります。



●静電気に関する注意事項

製品に静電気が流れると製品上の部品が破壊される恐れがあります。各コネクタや部品面には直接手を触れないでください。

静電気は衣服や人体からも発生します。製品に触れる前に、一旦接地された金属製のものに触れてください(体内の静電気を放電することになります)。



注意



●消費電流に関する注意事項

複数の拡張ボードをパソコンに取り付けるときは、ご購入製品を含めたすべての製品の消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えていないことを必ず確認してください。全ボードの消費電流の合計がパソコンの最大供給電流を超えたりするなどの動作条件を満たさない環境で使用し続けると、システムが正常に動作しない場合やシステムに負荷がかかり、パソコンが故障する原因となる恐れがあります。

消費電流のわからない製品については、その製品の取扱説明書をご覧いただくか、メーカーに直接お問い合わせいただいております。



●他社製品と併用されるときの注意事項

他社製品と併用されるとご購入製品が正常に動作しないことがあり、そのためにシステムが本来の目的を達成することができないこともあります。あらかじめ、製品単体の環境で購入製品が正常に動作することをご確認ください。また、他社製品との併用によって購入製品が正常に動作しないのであれば、その他社製品と購入製品との併用はお止めください。



●その他の注意事項

製品は指定された位置に指示通り取り付けてください。指示通りに取り付けられていない場合、製品の金属部分とパソコンの金属部分が接触してショートするなどの要因で、製品やパソコン本体・周辺機器が破壊される恐れがあります。

製品を取り扱うときは手など皮膚を傷つけないよう十分にご注意ください。ハードウェアの仕様上、製品のパネル、コネクタ、エッジ、裏面は金属のピンが、突出していることがあります。製品を取り付けたり取り外したりするときは、製品全体を軽く包み込むようにお持ちください。

動作中の製品は熱により非常に熱くなります。長時間使用した製品に手を触れる際には、十分にご注意ください。



ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノープス、Canopusおよびそのロゴは、カノープス株式会社の登録商標です。
- (8) SPECTRAは、カノープス株式会社の商標です。
- (9) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



表記について

- 本書では、SPECTRA 2500、SPECTRA 3200シリーズ、SPECTRA 5400シリーズ、SPECTRA 7400シリーズ、SPECTRA 8400、SPECTRA 8800、SPECTRA X20、SPECTRA X21、SPECTRA F11シリーズ、SPECTRA WF17、SPECTRA Light T32 PCI、SPECTRA Light G32をSPECTRAシリーズと表記しています。
- 本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストファイル・オンラインマニュアルも必ずお読みください。
- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書はパソコンの基本的な操作を行うことができる方を対象に書れています。特に記載の無い操作については、一般的なパソコンの操作と同じように行ってください。
- 本書ではMicrosoft® Windows® Millennium Edition operating system、Microsoft® Windows® 2000 operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows Me、Windows 2000、Windows XPと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラスト及び画面写真が異なる場合があります。画面写真は開発中のものです。



警告

- 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にでんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

SPECTRA WX25
Installation Guide
Version 1.0J

June 13,2002

Copyright © 2002 Canopus Co., Ltd.

All rights reserved.

目次

第 1 章 確認 1

はじめに.....	2
使用許諾契約書について	2
ご使用に当たっての留意事項	2
パッケージ内容の確認	2
■ SPECTRA WX25 同梱物	3
動作環境の確認.....	4
パソコン本体について	4
■ 必要な動作環境	4
■ 推奨する動作環境	4
対応 OS 環境.....	4
モニタ.....	5
割込み (IRQ) について.....	6
DMA について	6
BIOS の設定	6
■ BIOS の確認項目	6
当社ホームページについて	7
オンラインユーザー登録について	7

第 2 章 ボードの装着 9

装着時のご注意.....	10
SPECTRA WX25 の装着手順.....	11
DFS (Dual Filter System) の設定.....	11
装着の手順	12
■ 接続方法	14

第3章 インストール 17

Windows Me へのインストール	18
ドライバのインストール	18
ユーティリティのインストール	21
Windows 2000 へのインストール	23
ドライバのインストール	23
ユーティリティのインストール	28
Windows XP へのインストール	30
ドライバのインストール	30
インストール後の確認	32
確認の手順	32
■インストールの確認(Windows Me の場合)	32
■インストールの確認(Windows 2000 の場合)	33
■インストールの確認(Windows XP の場合)	34
リソース	35
■リソース(割り込み)の変更	35
アンインストール	36

第4章 APPENDIX 37

ユーティリティについて	38
オンラインマニュアルについて	38
■オンラインマニュアルの起動	38
■ユーティリティの起動	38
MEDIACRUISE のインストール	39
マルチディスプレイの設定	42
設定に利用するアプリケーションについて	42
マルチディスプレイについて	43
■マルチディスプレイの設定(Windows Me/Windows XP の場合)	43
■マルチディスプレイの設定(Windows 2000 の場合)	44
nView タブについて	47
■nView タブの設定(Windows Me の場合)	47

■ nView タブの設定(Windows 2000/Windows XP の場合)	48
■ nView タブでできること(Windows 2000/Windows XP の場合)	49
■ nView モードの設定(Windows Me の場合)	49
■ nView モードの設定(Windows 2000/Windows XP の場合)	50
■ プライマリディスプレイの割り当て(Windows 2000/Windows XP の場合)	51
GeForce4 Ti 4600 タブ - 詳細プロパティ -	52
■ GeForce4 Ti 4600 タブの設定(Windows 2000/Windows XP の場合)	52
■ 詳細 GeForce4 Ti 4600 プロパティ(Windows 2000/Windows XP の場合)	53
nView ウィザードを起動する	54
■ nView ウィザードでセットアップする	54
オンラインヘルプを使う	56
ハードウェア仕様	57
■ SPECTRA WX25 ハードウェア仕様	57
解像度一覧表	58

第1章

SPECTRA

確認

この章では、SPECTRA WX25 のセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意くださいいただきたい事項について説明します。

- ・ はじめに
- ・ 動作環境の確認

はじめに

第1章

▶ 使用許諾契約書について

SPECTRA WX25をご購入いただき、ありがとうございます。本製品をお使いいただくにあたって、まずはじめに付属の『Support Service Manual』のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。本製品に付属のソフトウェアをご利用いただくには、この使用許諾契約書の内容にご同意いただく必要があります。この使用許諾契約にご同意いただけない場合や、ご不明な点がございましたら、本書以外のパッケージを開封せずに下記カスタマーサポートまで書面にてご連絡ください。

2

このソフトウェア使用許諾契約は、お客様が『ディスクが入っている封筒』を開封された時点で内容にご同意いただいたものとさせていただきます。

カノーブス カスタマーサポート

〒651-2241 神戸市西区室谷1-2-2 カノーブス株式会社 カスタマーサポート宛

確認

▶ ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び当社が提供を行っている使用環境以外での動作は保証いたしかねます。

CPUなどを定格外でご使用の場合、本製品の動作保証は一切いたしかねます。

▶ パッケージ内容の確認

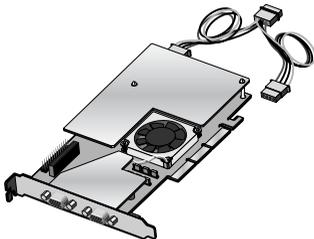
SPECTRA WX25のパッケージの中に次頁の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、下記テクニカルサポートまでご連絡ください。

カノーブス テクニカルサポート

電話：078-992-5846（※月曜～金曜 10:00～12:00/13:00～17:00 土日祝日および当社指定休日を除く）

■ SPECTRA WX25 同梱物

□ ボード本体



□ ディスク/バンドルソフトウェア

SPECTRA WX25をお使いいただくためのドライバ、ユーティリティやバンドルソフトウェアなどが付属しています。これらは、封筒の中に収められています。この封筒を開封する前に、別途付属している『Support Service Manual』の中のソフトウェア使用許諾契約の項目をお読みください。

付属しているディスクについては、封筒内の『SPECTRA WX25に付属のメディア』をご参照ください。

□ マニュアル

- ・Installation Guide(本書)
- ・Support Service Manual

□ ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼保証書

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行ってください(ご登録いただけていない場合には、一部のサービスについてお受けいただけないものがございます)。当社よりご提供させていただいておりますサービスについては『Support Service Manual』をご覧ください。ユーザー登録カードの各項目に必要事項を記入し、ユーザー控えの部分を持ち離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくは『Support Service Manual』およびオンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要になります。

紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

動作環境の確認

第 1 章

本製品をお使いいただく前に、SPECTRA WX25 を装着してお使いいただけるパソコン本体の環境を確認してください。

▶ パソコン本体について

以下の条件を満たしている場合でもパソコン本体の問題によって正常に動作しない場合があります。以下に書かれている条件を満たしているすべてのパソコンでの動作を保証しているものではありません。

4

■ 必要な動作環境

本製品をお使いいただくために最低限必要な環境で、この環境では付属ソフトウェアが動作しない場合があります。

- ・ Intel Pentium II 以上またはこれと同等の互換 CPU を持つ PC/AT 互換機
- ・ AGP スロットを搭載
- ・ CD-ROM ドライブを搭載

※ PC 独自の省電力機能(ラピッドレジューム、ハイバネーション)は使用できません。

■ 推奨する動作環境

本製品に付属しているソフトウェアをお使いいただくには、以下の環境を推奨します。

- ・ 付属のユーティリティ『MEDIACRUISE』を使用してDVDの再生を行う場合は、DVD-ROM ドライブ(2倍速以上)、PCIのサウンドカード、Pentium II 400MHz 以上のCPUおよび64MB以上のメモリが必要です。

▶ 対応 OS 環境

- マイクロソフト Windows Millennium Edition 日本語版
- マイクロソフト Windows 2000 Professional 日本語版
- マイクロソフト Windows XP Home Edition 日本語版
- マイクロソフト Windows XP Professional 日本語版

確 認

▶ モニタ

さまざまな解像度でお使いいただくには、次の表のような周波数で入力された信号を表示することができるマルチスキャンモニタが必要です。

お使いのモニタが対応している周波数の範囲については、モニタに付属のマニュアルをご参照いただくか、モニタメーカーのサポート窓口までお問い合わせください。



モニタの対応周波数以上の信号を入力するとモニタが破損したり、故障の原因となる場合があります。対応周波数以上の信号は絶対に入力しないでください。

	640 × 480		800 × 600		960 × 720		1024 × 768		1152 × 864	
	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)
256	31.5-78.6	60-150	37.9-98.2	60-150	44.7-117.7	60-150	48.4-125.7	60-150	53.7-141.3	60-150
High Color	31.5-78.6	60-150	37.9-98.2	60-150	44.7-117.7	60-150	48.4-125.7	60-150	53.7-141.3	60-150
True Color	31.5-78.6	60-150	37.9-98.2	60-150	44.7-117.7	60-150	48.4-125.7	60-150	53.7-141.3	60-150

	1280 × 960		1280 × 1024		1408 × 1024		1600 × 1200		1800 × 1440	
	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)
256	64.0-157.1	60-150	64.0-167.5	60-150	63.8-108.3	60-100	74.5-126.8	60-100	89.4-120.6	60-80
High Color	64.0-157.1	60-150	64.0-167.5	60-150	63.8-108.3	60-100	74.5-126.8	60-100	89.4-120.6	60-80
True Color	64.0-123.4	60-120	64.0-131.7	60-120	63.8-108.3	60-100	74.5-113.7	60-90	89.4-120.6	60-80

	1920 × 1080		1920 × 1200		1920 × 1440		2048 × 1536	
	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)	水平(kHz)	垂直(Hz)
256	67.1-102.4	60-90	74.5-113.7	60-90	89.4-120.6	60-80	95.3-111.8	60-70
High Color	67.1-102.4	60-90	74.5-113.7	60-90	89.4-120.6	60-80	95.3-111.8	60-70
True Color	67.1-102.4	60-90	74.5-107.2	60-85	89.4-120.6	60-80	95.3	60

- ※ High Color = 65536色 True Color = 1677万色
- ※ 表記の周波数はそれぞれの解像度で設定可能な周波数の範囲を表していますが、その範囲の値すべてに設定できるわけではありません。また、ご使用のOS、色数によって設定可能な周波数に違いがあります。設定可能な周波数については、巻末の『解像度一覧表』をご参照ください。
- ※ 解像度表の中で示す周波数は、選択可能な設定の下限値と上限値を示しています。プリセットされている設定に加え、Screen Control でカスタム設定したリフレッシュレートを選択することもできます。
- ※ W-RGB出力時に2つのディスプレイを跨いでオーバーレイ表示ウィンドウを配置した場合、片方のディスプレイのオーバーレイ表示は正常に行われますが、もう一方は正しく表示されません。

▶ 割込み(IRQ) について

ビデオボードに割込み(IRQ) が割り当てられないパソコンでは、SPECTRA WX25 をご使用いただけません。次のようなパソコンをお使いの場合には注意が必要です。

1

IRQが足りないときに、ビデオボードにIRQを割り当てない仕様になっているパソコン

2

パソコンのBIOSがはじめからビデオボードにIRQを割り当てない仕様になっているパソコン

※ 1 のケースの場合、正常に動作していても、新たに割込みを使用するボードを増設することによって直前まで動作していたWindows が急に起動しなくなることがあります。

割込みが割り当てられていない場合、SPECTRA WX25 のインストール作業を行ってもWindows が起動しなかったり、Safe モードで起動するような症状が発生します。

▶ DMA について

SPECTRA WX25 は、DMA を使用してデータの転送を行います。DMA 転送を正しく使用できないパソコンでは、SPECTRA WX25 をご使用いただけません。

DMA 転送が正しく使用できるかどうかについては、あらかじめ調査する方法は今のところありません。当社では動作確認済みのマザーボードの情報を公開しておりますので、当社のホームページに登録される情報をご覧ください。当社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

▶ BIOS の設定

一部のマザーボードでは、標準状態でAGP機能が使用できなくなっていたり、使用するための設定が必要な状態になっていない場合があります。SPECTRA WX25 を装着する前に、パソコン本体のBIOS設定の以下の項目をご確認ください。設定が正しく行われていないと、インストール作業後、Windowsが正常に動作しなくなる場合があります。

■ BIOS の確認項目

- ・ AGP 機能を [使用する / しない] という設定がある場合には、この項目を [使用する] に設定する。
- ・ AGP Aperture Size の設定がある場合には、このサイズを [64MB] に設定する。
- ・ VGA BIOS Sequence の設定がある場合には、AGP/PCI (AGP優先) に設定する。

※ この項目は、お使いのパソコンによって異なった名称であったり、この設定の必要がないものがあります。これらの設定方法はお使いのパソコンによって個々の方法がありますので、パソコン本体やマザーボードのマニュアルをご参照ください。

▶ 当社ホームページについて

SPECTRA WX25をはじめとする当社最新情報をホームページ(<http://www.canopus.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル(PDF形式)、FAQなどを公開していますので、当社ホームページを是非アクセスしていただき快適なパソコン環境を実現してください。

▶ オンラインユーザー登録について

お客様がインターネットに接続できる環境であれば、ユーザー登録カードをご投函いただくだけでも当社ホームページ上でユーザー登録することができます。ユーティリティのインストール後にパソコンのデスクトップ上に作成される「カノープスオンラインユーザー登録」アイコンをクリックするか、オンラインユーザー登録ページ(<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>)に直接アクセスいただき登録を行うことができます。

本製品を使用して他人の著作物（例：CD・DVD・ビデオグラム等の媒体に収録されている、あるいはラジオ・テレビ放送又はインターネット送信によって取得する映像・音声）を録音・録画する場合の注意点は下記の通りとなります。

- 著作権上、個人的又は家庭内において著作物を使用する目的で複製をする場合を除き、その他の複製あるいは編集等が著作権を侵害することがあります。収録媒体等に示されている権利者、放送、送信、販売元または権利者団体等を介するなどの方法により、著作者・著作権者から許諾を得て複製、編集等を行う必要があります。
- 他人の著作物を許諾無く複製または編集して、これを媒体に固定して有償・無償を問わず譲渡すること、またはインターネット等を介して有償・無償を問わず送信すること（自己のホームページの一部に組み込む場合も同様です）は、著作権を侵害することになります。
- 本製品を使用して作成・複製・編集される著作物またはその複製物につきましては当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

第
1
章

8

確
認

第2章

SPECTRA

ボードの装着

9

この章では、SPECTRA WX25 をパソコンへ装着する方法について説明します。

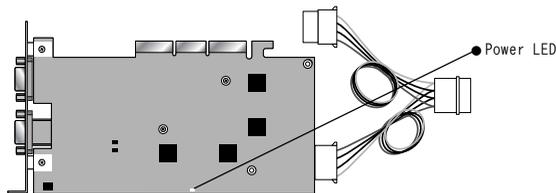
- ・ 装着時のご注意
- ・ SPECTRA WX25 の装着手順

装着時のご注意



禁止

SPECTRA WX25 の基板上にある Power LED は、パソコンのスタンバイモード時等に、誤ってボードの抜き差しによる破損を防ぐ目的で、動作中であることを示すために点灯します。点灯中は、絶対にボードの取り外しを行わないでください。ボードの脱着は、電源ケーブルをコンセントから抜いて LED が消灯後に必ず行ってください(すぐには消灯しないものもあります)。



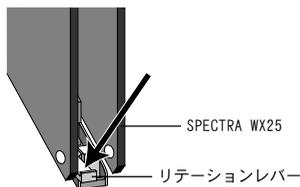
禁止

SPECTRA WX25 を AGP スロットに差しこむ前に、AGP スロットの右から 20mm 以内、底辺から 25mm 以内に、高さ 15mm 以上のコンデンサやコネクタ等の部品がある場合は SPECTRA WX25 を装着できません。



注意

AGP スロットに取り外し用のリテーションレバーがある場合は、SPECTRA WX25 を取り外すときに、ドライバー等を使用して SPECTRA WX25 のすきまから AGP スロットのリテーションレバーを押して SPECTRA WX25 を取り外してください。無理にひっぱるとボードの破損をまねきますので絶対におやめください。



SPECTRA WX25 の装着手順

ボードの装着を行う前に、作業を行うことができるほどの無い乾いたスペースを準備してください。また、プラスドライバー、マイナスドライバーと取り外したねじを入れておく空き箱を用意してください。

▶ DFS (Dual Filter System) の設定

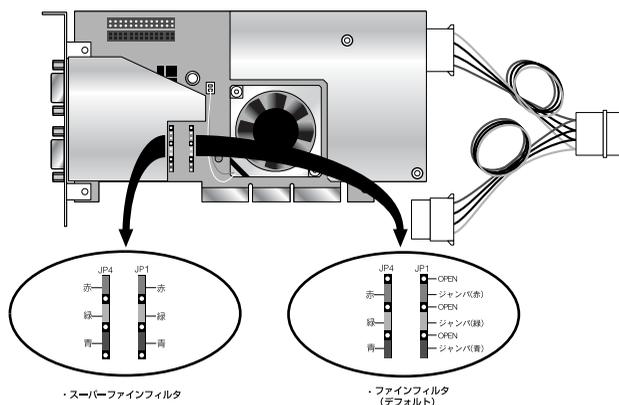
SPECTRA WX25 では、フィルタを切り替えることにより出力する信号特性を変更できます。使用環境や好みに応じてジャンパ(赤・緑・青)の位置を設定してください。

● スーパーファインフィルタ

一般的には21インチ以上のハイエンドモニタ等の表示に適した信号を出力します。

● ファインフィルタ

一般的に多くのモニタを幅広くカバーする信号を出力します。



DFS の設定は RGB-A のみ可能です。RGB-B はスーパーファインフィルタ固定となっています。

▶ 装着の手順

1

パソコンを終了して電源を切ってください。

2

電源ケーブルとモニターケーブルを取り外してください。



取り外す際に、どのケーブルがどのコネクタに接続されていたか、メモをしておくとも後で元に戻す際に便利です。

3

パソコンのカバーを取り外してください。

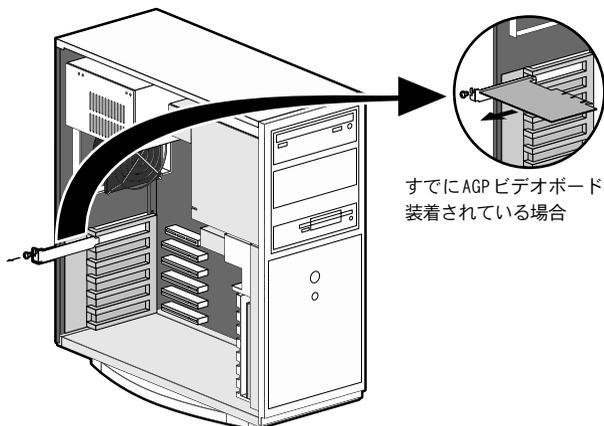
取り外し方については、パソコン本体に付属のマニュアルをご参照ください。

4

AGP スロットのカバーを取り外してください。

ドライバーを使用して AGP コネクタの位置のスロットカバーを固定しているねじを取り外してください。取り外したねじは手順6で使用しますので、空き箱になくさないように入れておいてください。取り外したスロットカバーは使用しませんので、なくさないように保存してください。

※ すでにAGPビデオボードが装着されている場合には、そのボードをスロットから引き抜いてください。



すでにAGPビデオボードが
装着されている場合



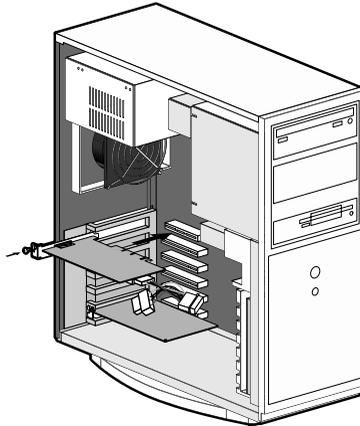
パソコンには通常、PCI、AGP の2つのタイプのコネクタがあります。通常 PCI は白いコネクタ、AGP は茶色のコネクタです。

5

SPECTRA WX25 を AGP スロットに差し込んでください。

AGP スロットはその構造上、挿入時に2段階の引っかかるような感触があります。金メッキ端子が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。何かに引っかかってうまく差し込むことができない場合には、無理に押し込まないようにしてください。この場合、SPECTRA WX25 をいったん取り外して、引っかかる原因を確認してください。

※ どうしても何かに引っかかって装着することができない場合には、物理的な問題で SPECTRA WX25 を使用することはできません。SPECTRA WX25 は AGP の規格によって設計されているボードですので、パソコン本体に何らかの問題がある可能性があります。この場合には一度パソコン本体メーカーまたはマザーボードメーカーまで対策をご相談ください。



6

手順4で取り外したねじを使用して、SPECTRA WX25 のスロットカバーを固定してください。

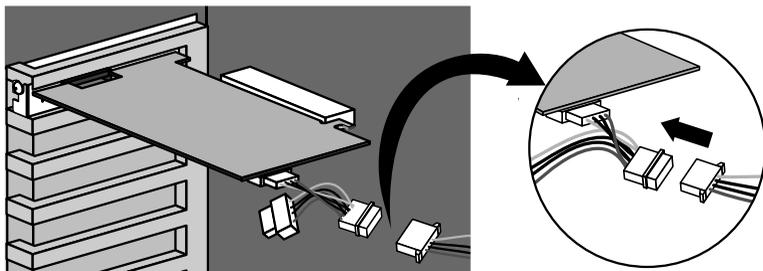
7

SPECTRA WX25の電源コネクタとパソコン側の電源コネクタを接続します。

接続部分のコネクタには接続可能な向きがあります。コネクタの形状をよくお確かめの上、接続を確実に行ってください。

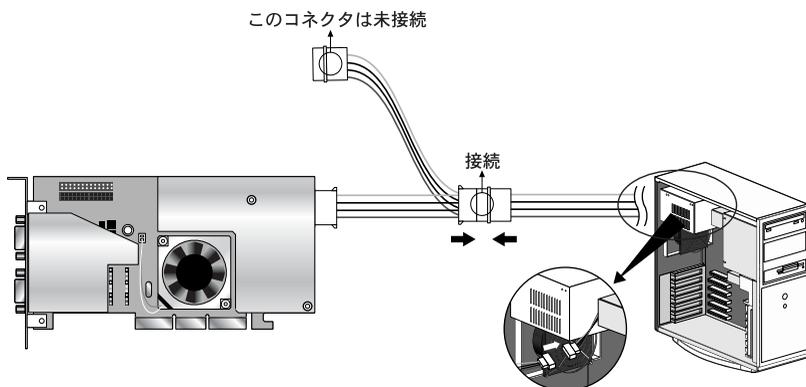


SPECTRA WX25 側の電源ケーブルとパソコン本体側の電源ケーブルは必ず接続してください。電源ケーブルの接続を行っていない場合、SPECTRA WX25 は動作しません。また、ボード故障の原因となりますのでご注意ください。パソコンの電源投入時に SPECTRA WX25 の基板にある冷却ファンが回転していない場合やモニタ画面に何も映らないもしくは正常な画面が表示されない場合は、電源ケーブルの接続不良が考えられますので、再度接続を確認してください。

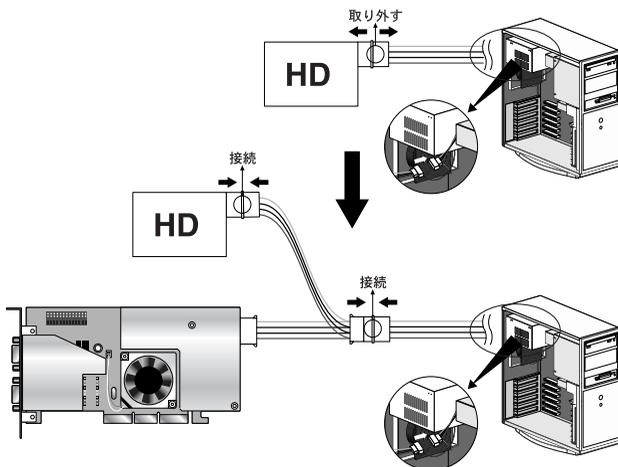


■ 接続方法

- ① SPECTRA WX25側のコネクタとパソコン側の電源コネクタを接続します(推奨)。



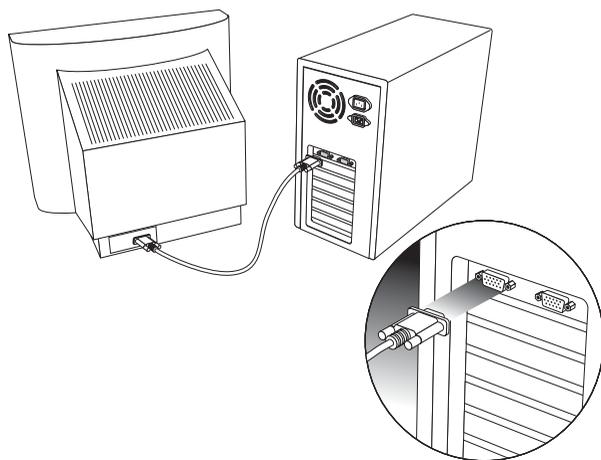
- ② パソコン側の電源コネクタと接続している周辺機器側の電源コネクタを取り外し、SPECTRA WX25のコネクタとパソコン側の電源コネクタを接続します。SPECTRA WX25 側のもう一方の電源コネクタと周辺機器側の電源コネクタを接続します。



8

冷却ファンに異物を巻き込んでいたり、ケーブル類が接触していないかを確認しパソコンのカバーを閉じてください。

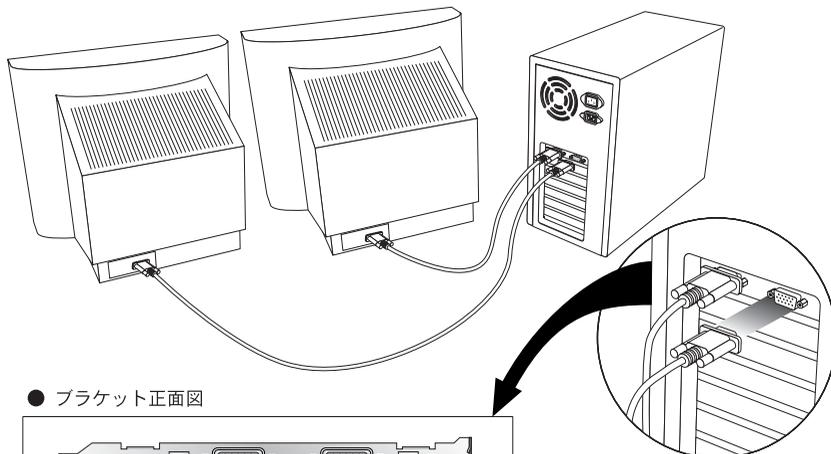
電源ケーブルとモニタケーブルを接続してください。



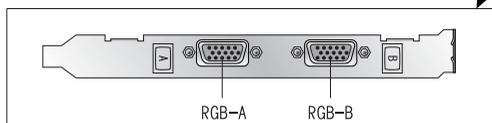
9

1台のモニターで使用する場合は、[RGB-A]の端子にモニターケーブルを接続します。

2台のモニターでマルチディスプレイを行う場合には、[RGB-A]と[RGB-B]の端子に各々ケーブルを接続します。



● ブラケット正面図



第3章

SPECTRA

インストール

17

この章では、SPECTRA WX25のドライバとユーティリティのインストール方法について説明します。

- Windows Me へのインストール
- Windows 2000 へのインストール
- Windows XP へのインストール
- インストール後の確認
- アンインストール

Windows ME へのインストール

▶ ドライバのインストール

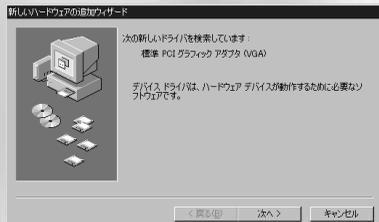
ボードを装着してパソコンを起動すると、ハードウェアが認識され、自動的にドライバのインストールが開始されます。

1

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットし、[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをQ:ドライブとして説明します。

→ ハードウェアを検索する方法を指定するウィンドウが表示されます。



2

[ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

→ ドライバの検索場所を指定するウィンドウが表示されます。



3

[検索場所の指定]をチェックしてください。

※ 他のチェックは外してください。



4

[参照]をクリックしてください。

→ ドライバの場所を指定するウィンドウが表示されます。

5

ドライブのプルダウンメニューから、CD-ROMをセットしたドライブを選択し、フォルダ内の[win98me]を選択して[OK]をクリックしてください。



6

ファイルのコピー元が[Q:\win98me]となっていることを確認して[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをQドライブとして説明していますが、Q:\win98me になっていますが、たとえばCD-ROMドライブがDドライブの場合には、D:\win98me になります。



7

表示内容を確認して[次へ]をクリックしてください。

※ 表示内容が正しくない場合には、[戻る]をクリックして手順4からやり直してください。
→ ドライバのコピーが開始されます。



8

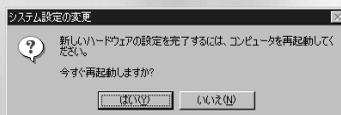
ドライバがインストールされると次の画面が表示されますので、[完了]をクリックしてください。



次へ



設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックして再起動を行ってください。



以上でドライバのインストール作業は終了です。

▶ ユーティリティのインストール

Windows Me 環境へのユーティリティのインストール作業を行います。

- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。SPECTRA シリーズをお持ちの方で、すでに SPECTRA シリーズのユーティリティをインストールしている場合は、ユーティリティのアンインストールを行ってから SPECTRA WX25 のユーティリティのインストールを行ってください。

1

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』を CD-ROM ドライブにセットしてください。

- ※ ここでは CD-ROM ドライブを Q: ドライブとして説明します。

2

[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

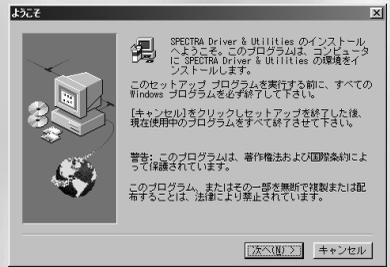
3

CD-ROM を挿入したドライブ (Q: ドライブ) を選択して開いてください。
[win98me] フォルダを開いて、[SETUP. EXE] をダブルクリックしてください。

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先フォルダを指定するウィンドウが表示されます。

4



[次へ]をクリックしてください。

※ インストール先フォルダを変更する場合には、[参照]をクリックし、インストールするフォルダを選択するか、フォルダ名を直接入力してください。

→ プログラムアイコンを登録するフォルダを指定するウィンドウが表示されます。

5



次へ

6

[次へ]をクリックしてください。

→ オンラインユーザー登録に関するウィンドウが表示されます。



7

[次へ]をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

8

[はい、直ちにコンピュータを再起動します。]を選択して[終了]をクリックしてください。

※ 再起動を必ず行ってください。

→ インストールは完了です。



コンピュータの再起動後、オンラインマニュアルを表示するかどうかを選択するウィンドウが表示されます。

以上でインストール作業は終了です。

SPECTRA WX25はDirectX8環境で動作するボードです。DirectX8をインストールされていない場合には、ここであわせてDirectX8のインストール作業を行ってください。

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』にはDirectX8.1が収録されています。

DirectX8.1のインストールは、『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』の[DirectX]フォルダにある[DXSETUP.EXE]をダブルクリックします。

Windows 2000 へのインストール

▶ ドライバのインストール

Windows 2000 ドライバをインストールするには、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID (Administrator 等) でログオンしてください。システムの変更を行えないユーザー ID では、ドライバのインストール作業は行えません。

1

Windows 2000 を起動してください。

→ ハードウェアの変更により、VGA で起動されます。

※ お使いの環境によっては [新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示されますが、キャンセルしてください。

2

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』を CD-ROM ドライブにセットしてください。

※ ここでは CD-ROM ドライブを Q: ドライブとして説明します。

3

[スタート]メニューから [設定] → コントロールパネルと進んで、[システム] をダブルクリックしてください。

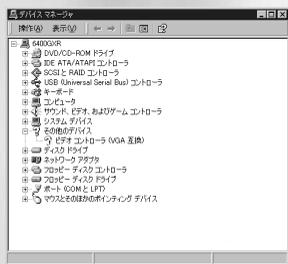
4

[ハードウェア] タブを選択し、[デバイス マネージャ] をクリックしてください。



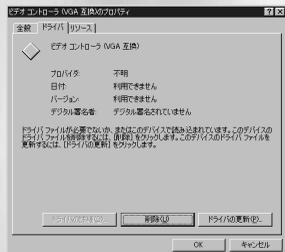
5

[その他のデバイス]を選択し、[ビデオコントローラ(VGA互換)]をダブルクリックしてください。



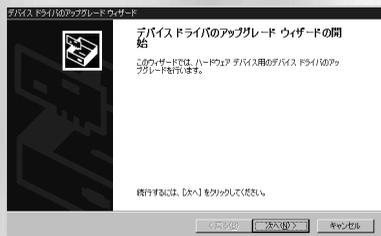
6

[ドライバ]タブを選択し、[ドライバの更新]をクリックしてください。



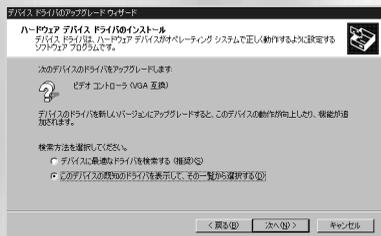
7

[次へ]をクリックしてください。



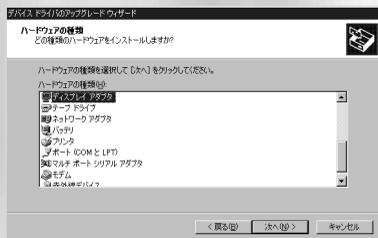
8

[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する]を選択し、[次へ]をクリックしてください。



9

[ディスプレイアダプタ]を選択し、
[次へ]をクリックしてください。



10

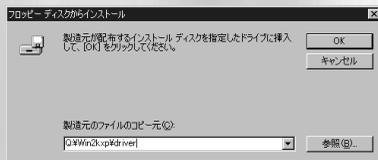
[ディスク使用]をクリックしてく
ださい。



11

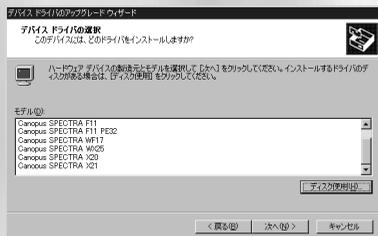
製造元のファイルのコピー元へ
[Q:¥Win2kxp¥driver]と入力し、
[OK]をクリックしてください。

※ たとえば CD-ROM ドライブが D: ドライブの時
は、[D:¥Win2kxp¥driver]となります。



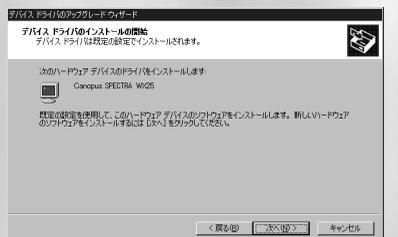
12

モデル一覧から [Canopus SPECTRA
WX25]を選択し、[次へ]をクリック
してください。



13

[次へ]をクリックしてください。



次へ

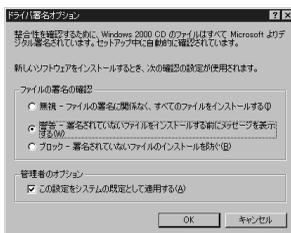
14

[デジタル署名が見つかりません
でした]というダイアログが表示
されます。

→ [はい]をクリックしてください。



[デジタル署名が見つかりません
でした]というダイアログが表示され
た時に [はい] が表示されない場合は、
以下の手順でドライバ署名のオプ
ションを変更してください。

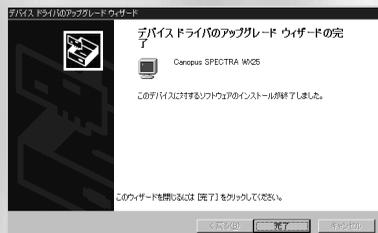


1. コントロールパネルの[システム]をダブルクリックします。
2. [ハードウェア]タブにある[ドライバの署名]をクリックします。
3. [ファイルの署名の確認]を[警告]に変更し、[OK]をクリックします。

※ドライバのインストール後は、設定を元に戻してください。

15

[完了]をクリックしてください。



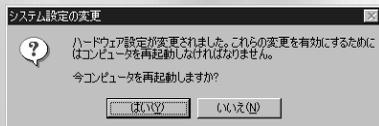
16

[閉じる]をクリックしてください。



17

設定を有効にするためにコンピュータの再起動を要求してきますので、[はい]をクリックして再起動を行ってください。



お使いの環境によっては、再起動を要求されない場合がありますが、設定を有効にするため必ずコンピュータの再起動を行ってください。

以上でインストール作業は終了です。

SPECTRA WX25はDirectX8環境で動作するボードです。DirectX8をインストールされていない場合には、ここであわせてDirectX8のインストール作業を行ってください。

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』にはDirectX8.1が収録されています。

DirectX8.1のインストールは、『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』の[DirectX]フォルダにある[DXSETUP.EXE]をダブルクリックします。

▶ ユーティリティのインストール

Windows 2000 環境へのユーティリティのインストール作業を行います。

- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。SPECTRA シリーズをお持ちの方で、すでに SPECTRA シリーズのユーティリティをインストールしている場合は、ユーティリティのアンインストールを行ってから SPECTRA WX25 のユーティリティのインストールを行ってください。ユーティリティのインストールの前にドライバのインストールをあらかじめ行っておいてください。
- ※ Windows XP 環境へのインストールもほぼ手順で行えます。
- ※ Windows 2000/Windows XP 環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える権限を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者等) でログオンしてください。

1

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』を CD-ROM ドライブにセットしてください。

- ※ ここでは CD-ROM ドライブを Q: ドライブとして説明します。

2

[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで、[エクスプローラ]を起動してください。

- ※ Windows XP 環境では、[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

3

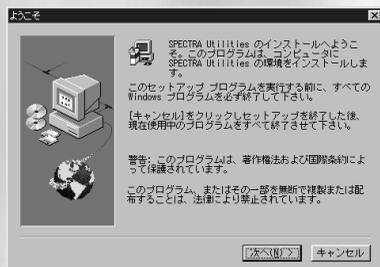
CD を挿入したドライブ (Q: ドライブ) を選択して開いてください。

[Win2kxp] フォルダ → [utils] フォルダを開いて、[SETUP.EXE] をダブルクリックしてください。

4

[次へ]をクリックしてください。

→ インストール先フォルダを指定するウィンドウが表示されます。



5

[次へ]をクリックしてください。

※ インストール先フォルダを変更する場合には、[参照]をクリックし、インストールするフォルダを選択するか、フォルダ名を直接入力してください。

→ プログラムアイコンを登録するフォルダを指定するウィンドウが表示されます。



6

[次へ]をクリックしてください。

→ オンラインユーザー登録に関するウィンドウが表示されます。



7

[次へ]をクリックすると、ファイルのコピーが開始されます。

8

[デジタル署名が見つかりませんでした]というダイアログが表示されます。

→ [はい]をクリックしてください。

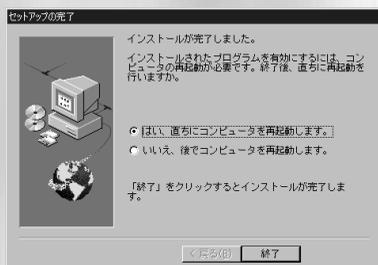


9

[はい、直ちにコンピュータを再起動します。]を選択して[終了]をクリックしてください。

※ 再起動を必ず行ってください。

→ インストールは完了です。



コンピュータの再起動後、オンラインマニュアルを表示するかどうかを選択するウィンドウが表示されます。

以上でユーティリティのインストール作業は終了です。

Windows XPへのインストール

第3章

▶ ドライバのインストール

Windows XP ドライバをインストールするには、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID(コンピュータの管理者等)でログオンしてください。システムの変更を行えないユーザー IDでは、ドライバのインストール作業は行えません。

30

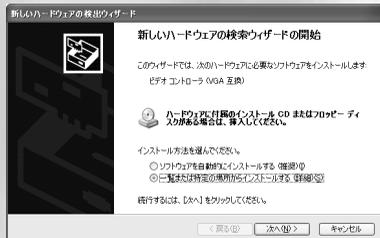
インストール

1

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットします。[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択して[次へ]をクリックしてください。

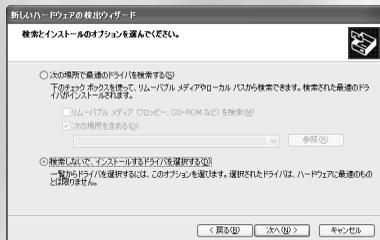
※ ここではCD-ROMドライブをQ:ドライブとして説明します。

→ ハードウェアを検索する方法を指定するウィンドウが表示されます。



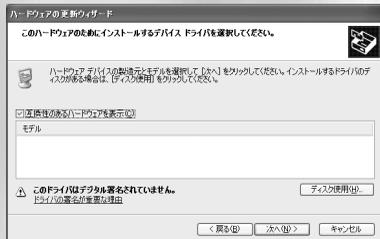
2

[検索しないで、インストールするドライバを選択する]を選択して[次へ]をクリックしてください。



3

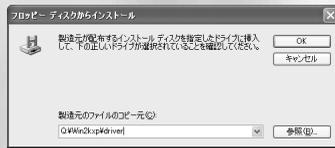
[互換性のあるハードウェアを表示する]にチェックを付け、[ディスク使用]をクリックしてください。



4

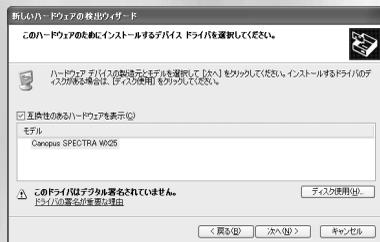
製造元のファイルのコピー元へ
[Q:¥Win2kxp¥driver]と入力し、
[OK]をクリックしてください。

※ たとえばCD-ROMドライブがD:ドライブの時
は、[D:¥Win2kxp¥driver]となります。



5

[Canopus SPECTRA WX25] を選択し、
[次へ]をクリックしてください。



6

[続行]をクリックしてください。
→ ファイルのコピーを開始します。



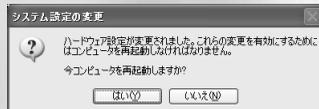
7

[完了]をクリックしてください。



8

[はい]をクリックしてください。
→ お使いの環境によっては、再起動を
要求されない場合がありますが、設
定を有効にするため必ずコンピュ
ータの再起動を行ってください。



以上でドライバのインストール作業は終了です。ユーティリティのインストール方法は、Windows 2000 環境へのインストール手順と同じです。Windows 2000 へのインストール『ユーティリティのインストール』の項を参照に作業を行ってください。

インストール後の確認

第3章

ドライバ、ユーティリティのインストールを完了し、再起動後にSPECTRA WX25が正常にインストールされたか確認してください。

確認の手順

■ インストールの確認(Windows Meの場合)

32

1

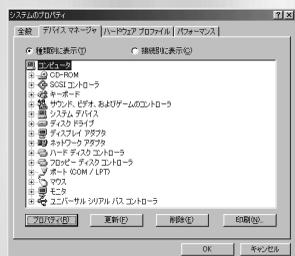
[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へ進み、[システム]のアイコンをダブルクリックしてください。

→ [システムのプロパティ]が表示されます。

インストール

2

システムのプロパティの[デバイスマネージャ]タブを選択し、[種類別に表示]のラジオボタンにチェックが入っていることを確認してください。



[ディスプレイアダプタ]をダブルクリックしてください。

→ [Canopus SPECTRA WX25]と表示されていることを確認してください。

→ [Canopus SPECTRA WX25]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、SPECTRA WX25が正常にインストールされていません。

※ 再インストール・リソース問題の解決やボードの差し位置の変更などをお試しください。

3



■ インストールの確認(Windows XPの場合)

1

[スタート]メニューの[コントロールパネル]から[パフォーマンスとメンテナンス]へ進み、[コンピュータの基本的な情報を表示する]を選択してください。もしくは[スタート]メニューのマイコンピュータ上で右クリックし、[プロパティ]を選択してください。

2

[ハードウェア]タブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックしてください。



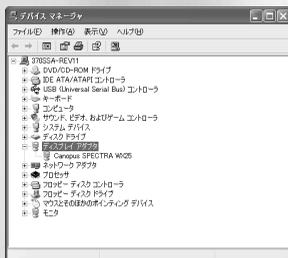
3

[ディスプレイアダプタ]をダブルクリックしてください。

→ [Canopus SPECTRA WX25]と表示されていることを確認してください。

→ [Canopus SPECTRA WX25]の頭に『!』や『×』のマークが表示されている場合、SPECTRA WX25が正常にインストールされていません。

※ 再インストール・リソース問題の解決やボードの差し位置の変更などをお試しください。



▶ リソース

■ リソース(割り込み)の変更

SPECTRA WX25 と他のデバイス類のリソースが競合もしくは共有している場合、正常動作しない場合があります。以下の方法をお試しください。

- ・ 割り込みを共有する他の機器を取り外すか、他の機器の IRQ の変更を行ってください(IRQ ステアリングフォルダとの共有は問題ありません)。
- ・ パソコン本体 (マザーボード)の BIOS でリソースの設定を変更してください。BIOS の設定方法は各メーカーによって異なりますので、パソコン本体、マザーボードなどに付属の取扱説明書をご参照ください。



IRQ の設定方法はパソコン、マザーボードなど各メーカーにより異なります。BIOS で AGP や PCI スロットごとに任意の IRQ を割り当てるタイプや、特定の IRQ をあらかじめ予約するタイプなどがあります。

アンインストール

第3章

ユーティリティを使用しなくなった場合、アンインストールすることができます。ユーティリティのアップデートを行う場合は、アンインストール後に新しいユーティリティのインストールを行うようにしてください。

1

[スタート]メニューから[設定]→[コントロールパネル]へと進み、[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックしてください。

2

削除できるソフトウェアの一覧が表示されますので、[SPECTRA Driver & Utilities]を選択し、[追加と削除]をクリックしてください。



ファイル削除確認のメッセージが表示されます。

→ [はい]をクリックしてください。

※ ファイル削除中に『共有ファイルを削除しますか?』ウィンドウが表示される場合は、確認の上、[はい]をクリックしてください。



3

削除完了のメッセージが表示されます。

→ [OK]をクリックしてください。

※ Windows Me 環境では、パソコンの再起動を促すメッセージが表示されますので [はい] をクリックし、パソコンの再起動を行ってください。



以上でアンインストール作業は終了です。

第4章

S P E C T R A

A P P E N D I X

37

- ユーティリティについて
- マルチディスプレイの設定
- ハードウェア仕様
- 解像度一覧表

ユーティリティについて

第4章

▶ オンラインマニュアルについて

SPECTRAシリーズに付属している各ユーティリティの使用方法は、オンラインマニュアルに書かれています。オンラインマニュアルは、知りたいことをクリックするだけで表示できたり、操作しながらあわせて見ることができる便利なマニュアルです。オンラインマニュアルを使いこなして、SPECTRAシリーズの機能を便利に使ってください。ここではWindows XP環境を例に説明します。

■ オンラインマニュアルの起動

ユーティリティのインストール後、初回起動時にオンラインマニュアルが表示されます。オンラインマニュアルを閉じた時以後も表示するかどうかを選択するウィンドウが表示されますので、表示内容を確認し、どちらかを選択してください。



もしくは、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[SPECTRA Utilities]へ進んで、[SPECTRA Online Manual]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000の環境では[スタート]メニューから[プログラム]→[SPECTRA Utilities]→[SPECTRA Online Manual]を選択します。

■ ユーティリティの起動

オンラインマニュアルに書かれているそれぞれのユーティリティを起動するには、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[SPECTRA Utilities]へ進んで、それぞれのユーティリティを選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000の環境では[スタート]メニューから[プログラム]→[SPECTRA Utilities]へ進んで、それぞれのユーティリティを選択します。

▶ MEDIACRUISE のインストール

MEDIACRUISEのインストール作業を行います。MEDIACRUISEのインストールはWindows Me/Windows 2000/Windows XP のいずれの環境でも同様の手順で行います。

- ※ インストール作業を開始する前に、現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。ここではWindows XP環境を例に手順を説明しています。
- ※ Windows 2000/Windows XP 環境へインストールする場合は、システム設定の変更を行える資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者等)でログオンしてください。

1

『SPECTRA Series Drivers and Utilities CD』をCD-ROMドライブにセットし、[次へ]をクリックしてください。

※ ここではCD-ROMドライブをQ:ドライブとして説明します。

2

[スタート]メニューから[マイコンピュータ]を選択してください。

※ Windows Me/Windows 2000 環境では、[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]と進んで、『エクスプローラ』を起動します。

3

CDを挿入したドライブ(Q:ドライブ)を選択して開いてください。

4

[MEDIACRUISE]フォルダ内の[Setup.exe]をダブルクリックしてください。

→ インストール作業についての画面が表示されます。

5

[次へ]をクリックしてください。



次へ

6

[次へ]をクリックしてください。

- ※ インストール先フォルダを変更する場合には、[参照]をクリックし、インストールするフォルダを選択するか、フォルダ名を直接入力してください。



MEDIACRUISE に関連付けを行うアイテムを選択してください。

- ディスク、オーディオファイルおよびビデオファイルの MEDIACRUISE への関連付けを選択してください。次の項目の設定を行うには、[次へ]をクリックしてください。



MEDIACRUISE のアイコンを登録するフォルダを選択後、[次へ]をクリックしてください。

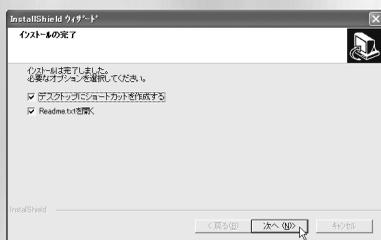
8



9

インストールオプションを選択し、
[次へ]をクリックしてください。

→ 選択する場合はチェックを付けて
ください。



Readme.txtには、マニュアルに記載されていない事項が記載されていますので、インストール時に必ずお読みください。

41

10

[完了]をクリックしてください。

→ インストールは完了です。



マルチディスプレイの設定

SPECTRA WX25は、2系統のD-Sub 15pinコネクタを搭載しています(W-RGB出力対応)。これによりディスプレイを2台ご用意いただくことで1台のSPECTRA WX25でマルチディスプレイ環境を構築することができます。

▶ 設定に利用するアプリケーションについて

マルチディスプレイの設定は、お使いのOSおよび使用する機能により異なります。[画面のプロパティ]の設定タブでマルチディスプレイの設定を行った場合は、nViewタブおよびGeForce4 Ti 4600タブは表示されません。また、ディスプレイを2台接続していない場合も設定画面は表示されません。

※ 下記の表は、本書作成時の仕様です。マルチディスプレイに関する最新情報は、当社ホームページにてご確認ください。

	マルチディスプレイ	nView			
	拡張モード	標準	水平スパン	クローン	垂直スパン
オーバーレイ表示(可/否)	○	○	×	○ ^{※1}	×
Windows Me	 画面のプロパティ設定タブ	 Adapter Control → nViewタブ	×	 Adapter Control → nViewタブ	×
Windows 2000	 画面のプロパティ設定タブ ^{※2}	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ
Windows XP	 画面のプロパティ設定タブ	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ	 SPECTRA WX25のプロパティ→nViewタブ

※1 ビデオミラーコントロールの設定がON状態ではない場合、オーバーレイ表示ができません。

※2 この画面を表示するには、[GeForce4 Ti 4600]タブ[詳細プロパティ]のデスクトップユーティリティにて設定変更を行う必要があります。詳しくはp.44の『マルチディスプレイの設定(Windows 2000の場合)』をご覧ください。

▶ マルチディスプレイについて

■ マルチディスプレイの設定 (Windows Me/Windows XP の場合)

Windows Me および Windows XP 環境で OS の機能を利用してマルチディスプレイの設定を行う場合は [画面のプロパティ] の [設定] タブを使用します。また、SPECTRA WX25 と他の SPECTRA Series を併用したマルチディスプレイ環境を構築する場合も [画面のプロパティ] で設定を行います。

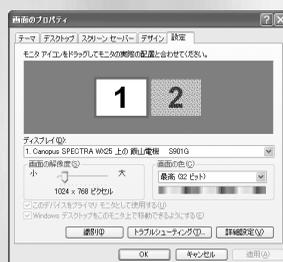
1

他のウィンドウが表示されていない Windows メイン画面上で右クリックし、メニューから [プロパティ] を選択してください。

2

[設定] タブを表示してください。

※ [ディスプレイ] の箇所に表示される内容は、お使いの環境により異なります。



3

プルダウンメニューからもう一方の、SPECTRA WX25 を選択してください。

※ [ディスプレイ] の箇所に表示される内容は、お使いの環境により異なります。

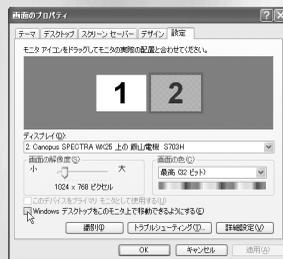


4

お使いの環境に合わせてモニタ位置、解像度等の設定をおこなってください。

※ [ディスプレイ] の箇所に表示される内容は、お使いの環境により異なります。

→ [Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする] にチェックを付けます。



■マルチディスプレイの設定(Windows 2000の場合)

Windows 2000環境では、OSの機能であるマルチディスプレイの設定画面を表示するために設定が必要となります(デフォルトではSPECTRA WX25の機能を利用したマルチディスプレイ設定画面が表示されるようになっていきます)。

1

他のウィンドウが表示されていないWindowsメイン画面上で右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択してください。

[設定]タブを選択し、[詳細設定]をクリックしてください。

※ 画面はお使いの環境により異なります。



2

[GeForce4 Ti 4600]タブを選択し、[詳細プロパティ]をクリックしてください。



3

[nView 対応ボードに接続されている複数の出力デバイスを異なるディスプレイデバイスとして扱います]にチェックをつけ、[OK]をクリックします。



4

5

[今すぐコンピュータを再起動する]をクリックしてください。

→ コンピュータが再起動します。

再起動が必要



ディスプレイのプロパティを変更した場合、システムを再起動しないと新しい設定は反映されません。

コンピュータを再起動する前に、開いている文書を保存してアプリケーションをすべて閉じてください。

[今すぐコンピュータを再起動する]の

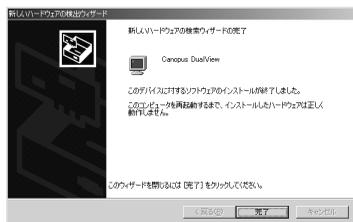


Windows 2000 環境ではコンピュータ再起動後の初回起動時のみ次の画面が表示されます。

① [はい]をクリックしてください。



② [完了]をクリックしてください。



③ [はい]をクリックしてください。

→ コンピュータが再起動します。



6

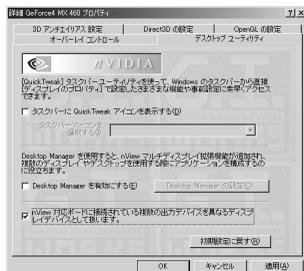
再起動後[プロパティ]を選択すると、マルチディスプレイの設定画面が表示されています。



次へ



[nView] タブでの設定を有効にしたい場合は、詳細プロパティの[nView] 対応ボードに接続されている複数の出力デバイスを異なるディスプレイデバイスとして扱います]のチェックを外し、[OK]をクリックしてパソコンを再起動します。



▶ nView タブについて

■ nView タブの設定 (Windows Me の場合)

SPECTRA WX25 の機能を利用してマルチディスプレイの設定を行う場合は [SPECTRA Information] → [表示設定] → [nView] タブを使用します。

1

他のウィンドウが表示されていないWindowsメイン画面上で右クリックし、メニューから [プロパティ] を選択してください。

2

[設定] タブを選択し、[詳細] をクリックしてください。

※ 画面はお使いの環境により異なります。



3

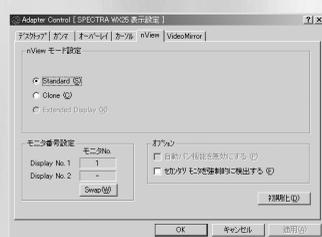
[SPECTRA Information] タブを選択し、[表示設定] をクリックしてください。



4

[nView] タブを選択してください。

※ nView タブについては p. 49 の「nView モードの設定 (Windows Me の場合)」を参照してください。



■ nView タブの設定 (Windows 2000/Windows XP の場合)

SPECTRA WX25 の機能を利用してマルチディスプレイの設定を行う場合は [SPECTRA WX25のプロパティ] → [nView] タブを使用します。[nView] タブでは、表示モードの設定、プライマリディスプレイの割り当てが行えます。

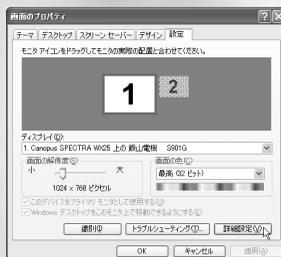
※ 画面は Windows XP 環境のもので、Windows 2000 の場合、多少画面が異なります。

1

他のウィンドウが表示されていない Windows メイン画面上で右クリックし、メニューから [プロパティ] を選択してください。

[設定] タブを選択し、[詳細設定] をクリックしてください。

※ Windows 2000 環境では、[詳細] をクリックします。



2



[nView] タブを使用する場合、[画面のプロパティ] においてプライマリもしくはセカンダリのどちらか一方の [Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする] にチェックを付けしないでください (モニタの片側を非アクティブ状態にします)。

- このデバイスをプライマリ モニタとして使用する (U)
- Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする (E)

3

[nView] タブを選択してください。

※ nView タブについては p. 50 の「nView モードの設定 (Windows 2000/Windows XP の場合)」を参照してください。



■ nView タブでできること (Windows 2000/Windows XP の場合)

nViewモードが[標準]以外に設定されている場合、デフォルト設定ではRGB-A端子に接続したものが1、RGB-B端子に接続したものが2に割り当てられています。プライマリディスプレイの割り当て設定を変更するとサンプル画面上の割り当て番号(1もしくは2)も変わります。サンプル画面上にマウスポインタを移動させると表示されるチップヘルプにより現在の割り当て状態をご確認ください。



■ nView モードの設定 (Windows Me の場合)

表示するモードを選択します。Windows Me の場合は標準(Standard)、クローン(Clone)の2種類のモードが選択できます。

また、『モニタ番号設定』の[Swap]をクリックすると、現在のモニタからもう一方のモニタへ表示内容が移動します。

モードの選択後、[OK]をクリックすると設定が反映されます。



クローン(Clone)

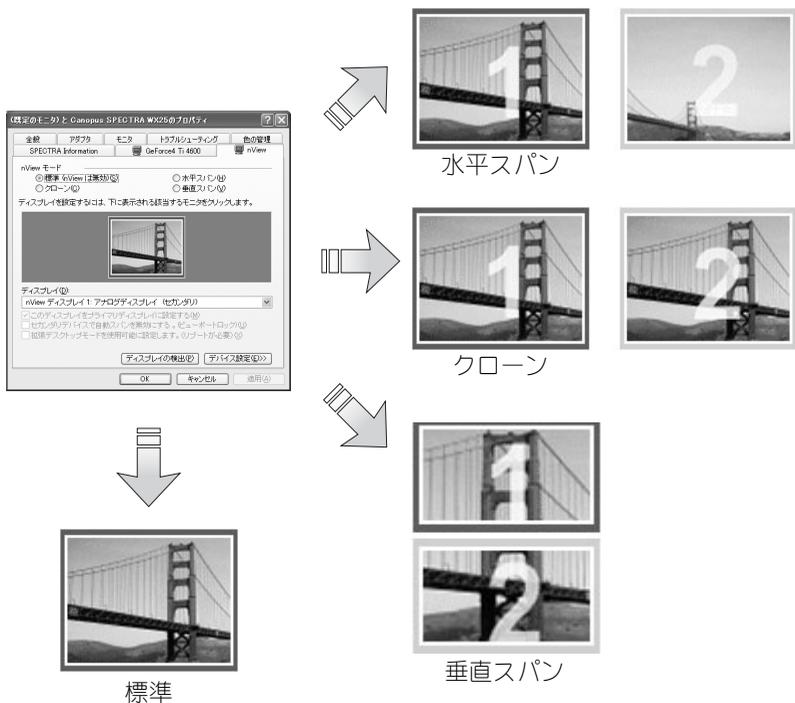


標準(Standard)

■ nView モードの設定 (Windows 2000/Windows XP の場合)

表示するモードを選択します。モードの選択後、[OK] をクリックすると設定が反映されます。

- ※ お使いの環境によって設定の変更を確認するダイアログが表示されます。この場合は、[OK] もしくは [はい] をクリックしてください。
- ※ 画面は Windows XP 環境のもので、Windows 2000 の場合、多少画面が異なります。



nView モードで[クローン]選択時には、ビデオミラーコントロールの設定がOFF状態(GeForce4 Ti 4600 タブ参照)の場合、オーバーレイ表示が行えません。水平および垂直スパンモードでは、お使いのOSに関係なくオーバーレイ表示は行えません。

■ プライマリディスプレイの割り当て(Windows 2000/Windows XPの場合)

RGB-A端子(プライマリ)もしくはRGB-B端子(セカンダリ)に接続されたどちら側のディスプレイもプライマリディスプレイに割り当てることができます。

※ 画面はWindows XP環境のもので、Windows 2000の場合、多少画面が異なります。

1

nViewモードから[水平スパン]、[クローン]、[垂直スパン]のうちいずれかのモードを選択します。

[ディスプレイ]のプルダウンメニューからディスプレイ(プライマリ)もしくはセカンダリ)を選択してください。

※ 画面は水平スパンを選択した場合のもので、



2

[このディスプレイをプライマリディスプレイに設定する]にチェックを付けてください。



3



設定によりサンプル画面に表示されている番号が変更されますので、マウスカーソルをサンプル画面上に移動させ、実際の割り当て状態をご確認ください。

▶ GeForce4 Ti 4600 タブ - 詳細プロパティ -

■ GeForce4 Ti 4600 タブの設定 (Windows 2000/Windows XP の場合)

[GeForce4 Ti 4600] タブ - [詳細プロパティ] では、オーバーレイの設定やウィンドウの表示設定などが行えます。

※ 画面は Windows XP 環境のもので、Windows 2000 の場合、多少画面が異なります。

1

他のウィンドウが表示されていないWindowsメイン画面上で右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択してください。

[設定] タブを選択し、[詳細設定] をクリックしてください。

※ 画面はお使いの環境により異なります。

2



[GeForce4 Ti 4600] タブを使用する場合、[画面のプロパティ]においてプライマリもしくはセカンダリのどちらか一方の[Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする]にチェックを付けないでください (モニタの片側を非アクティブ状態にします)。

- このデバイスをプライマリ モニタとして使用する(U)
- Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする(E)

3

[GeForce4 Ti 4600] タブを選択し、[詳細プロパティ] をクリックしてください。

※ 詳細プロパティについては、p. 53「詳細GeForce4 Ti 4600 プロパティ (Windows 2000/Windows XP の場合)」を参照してください。



■ 詳細 GeForce4 Ti 4600 プロパティ (Windows 2000/Windows XP の場合)

各タブをクリックし、設定タブを切り替えてオーバーレイコントロールなどの各種設定を行います。設定後、[OK]をクリックすると[GeForce4 Ti 4600]タブの画面に戻ります。[GeForce4 Ti 4600]タブの画面上にある[OK]をクリックすると設定内容が反映されます。各設定画面の[初期設定に戻す]をクリックするとデフォルト値に戻すことができます。

※ 画面はWindows XP環境のもので、Windows 2000の場合、多少画面が異なります。

3Dアンチエイリアス設定



3D アプリケーション実行時のアンチエイリアスに関する設定を行います。

Direct3D の設定



Direct3D に関する設定を行います。

OpenGL の設定



OpenGL に関する設定を行います。

オーバーレイコントロール



オーバーレイに関する設定を行います。[ビデオミラーコントロール]をクリックするとさらに詳細な設定が行える画面が開きます。

デスクトップユーティリティ



デスクトップに関する設定を行います。[Desktop Manager を有効にする]にチェックを付け[Desktop Manager の設定]をクリックするとウィンドウ表示の拡張機能、さらに詳細な設定を行える画面が開きます。[Desktop Manager]の設定はnView ウィザードにおいても設定することができます。

▶ nView ウィザードを起動する

nView ウィザードを利用することでデスクトップに関する設定をウィザード方式で容易に行うことができます。画面表示の内容を確認しながら次の項目へ進むには[次へ]をクリックしてください。ここで設定された内容は[Desktop Manager]に反映されます。

※ 画面はWindows XP 環境のもので、Windows Me/Windows 2000 の場合、多少画面が異なります。

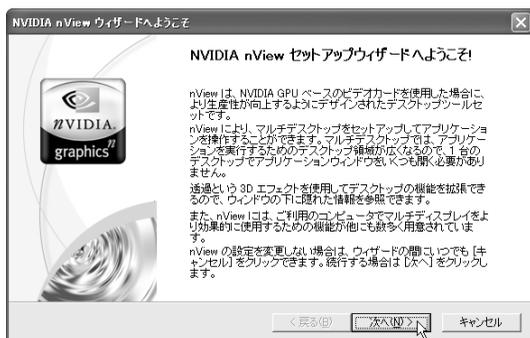
■ nView ウィザードでセットアップする

[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[SPECTRA Utilities]→[nView Wizard]を起動します。

※ Windows Me/Windows 2000 の場合、[すべてのプログラム]が[プログラム]と表示されます。

※ Windows Me の場合、[SPECTRA Utilities]が[SPECTRA Driver & Utilities]と表示されます。

nView セットアップウィザードの起動



プロファイルのロードと使用方法



Desktop Manager の使い方



機能



ウィンドウ分割のコントロール



ダイアログの再配置



アプリケーションの位置を記憶



システムメニューの拡張機能



デスクトップの数



エクスプローラを使用してデスクトップ間を移動する



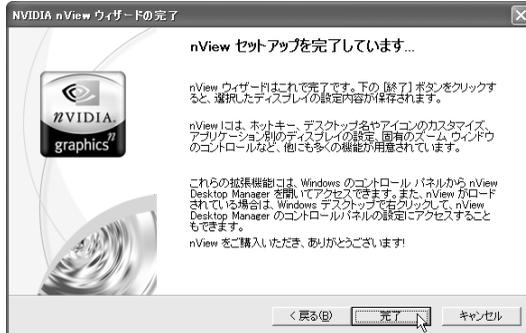
ウィンドウの最大化の高速化



透過



nView ウィザードの完了



セットアップ終了後、nView Desktop Manager に設定した内容が保存されます。設定した内容は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[SPECTRA Utilities]→[nView]→[nView Desktop Manager]で確認することができます。(Windows Me/Windows 2000 では[すべてのプログラム]が[プログラム]と表示されます。)

▶ オンラインヘルプを使う

各設定項目の内容や意味などがわからない場合は、オンラインヘルプをご活用ください。

※ 画面は Windows XP 環境のもので、Windows 2000 の場合、多少画面が異なります。

画面右上にある？アイコンをクリックしてください。

→ マウスカソルの形状が変わります。

※ デフォルト設定ではマウスカソルに？のマークが付加された形状のものになります。



内容を確認したい箇所にマウスカソルを移動し、クリックしてください。

※ 画面は [垂直スパン] を選択する場合のもので、



該当する項目にヘルプが存在する場合、その項目のヘルプダイアログが表示されます。もう一度クリックするとヘルプダイアログが閉じます。



1

2

3

ハードウェア仕様

■ SPECTRA WX25 ハードウェア仕様

- アクセラレータチップ : nVIDIA GeForce4 Titanium 4600
- 画像メモリ : 128MB DDR SDRAM
- 最大消費電流 : + 5V 9A (APS4.0/ 外部電源部)
+ 12V 300mA (APS4.0/ 外部電源部)
+ 1.5V 50mA (AGP 部)
+ 3.3V 200mA (AGP 部)

- 使用資源 : [I/Oポートアドレス]
VGAが標準で使用するアドレス
[メモリ]
RAM 空間 A0000h ~ BFFFFh
ROM 空間 C0000h ~ CFFFFh
拡張メモリ空間-プラグアンドプレイによって割り当てられる144.7MB
[割り込み]
IRQ を1つ常時使用

- ボードサイズ : 175mm x 115mm
※ブラケット含まず
※電源コネクタ接続のため、コネクタからさらに30mmのスペースが必要

- AGP バス : AGP2.0
- 出力コネクタ : D-Sub 15pin × 2

解像度一覧表 (2002年6月現在)

640x480	256	水平(kHz)	31.5	37.9	37.5	43.0	45.5	51.0	61.8		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	High Color	水平(kHz)	31.5	37.9	37.5	43.0	45.5	51.0	61.8		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	True Color	水平(kHz)	31.5	37.9	37.5	43.0	45.5	51.0	61.8		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
800x600	256	水平(kHz)	37.9	48.0	46.9	53.8	56.8	63.7	77.2		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	High Color	水平(kHz)	37.9	48.0	46.9	53.8	56.8	63.7	77.2		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	True Color	水平(kHz)	37.9	48.0	46.9	53.8	56.8	63.7	77.2		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
1024x768	256	水平(kHz)	48.4	56.4	57.6	60.0	68.6	72.8	81.7	98.8	
		垂直(Hz)	60	70	72	75	85	90	100	120	
	High Color	水平(kHz)	48.4	56.4	57.6	60.0	68.6	72.8	81.7	98.8	
		垂直(Hz)	60	70	72	75	85	90	100	120	
	True Color	水平(kHz)	48.4	56.4	57.6	60.0	68.6	72.8	81.7	98.8	
		垂直(Hz)	60	70	72	75	85	90	100	120	
1152x864	256	水平(kHz)	53.7	64.9	67.7	71.1	81.9	91.3	111.2		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	High Color	水平(kHz)	53.7	64.9	67.7	71.1	81.9	91.3	111.2		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	True Color	水平(kHz)	53.7	64.9	67.7	71.1	81.9	91.3	111.2		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
1280x960	256	水平(kHz)	64.0	76.8	80.0	81.3	97.0	108.4	123.4		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	High Color	水平(kHz)	64.0	76.8	80.0	81.3	97.0	108.4	123.4		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	True Color	水平(kHz)	64.0	76.8	80.0	81.3	97.0	108.4	123.4		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
1280x1024	256	水平(kHz)	64.0	76.8	80.0	81.3	97.0	108.4	131.7		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	High Color	水平(kHz)	64.0	76.8	80.0	81.3	97.0	108.4	131.7		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
	True Color	水平(kHz)	64.0	76.8	80.0	81.3	97.0	108.4	131.7		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100	120		
1408x1024	256	水平(kHz)	63.6	76.9	80.1	81.4	97.0	108.3			
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100			
	High Color	水平(kHz)	63.6	76.9	80.1	81.4	97.0	108.3			
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100			
	True Color	水平(kHz)	63.6	76.9	80.1	81.4	97.0	108.3			
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100			
1408x1056	256	水平(kHz)	63.6	76.9	80.1	81.4	97.0	108.3			
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100			
	High Color	水平(kHz)	63.6	76.9	80.1	81.4	97.0	108.3			
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100			
	True Color	水平(kHz)	63.6	76.9	80.1	81.4	97.0	108.3			
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	100			
1600x1200	256	水平(kHz)	74.5	90.0	93.9	107.1	113.7	120.4	126.8		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	95	100		
	High Color	水平(kHz)	74.5	90.0	93.9	107.1	113.7	120.4	126.8		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	95	100		
	True Color	水平(kHz)	74.5	90.0	93.9	107.1	113.7	120.4	126.8		
		垂直(Hz)	60	72	75	85	90	95	100		
1920x1080	256	水平(kHz)	67.1	81.0	84.5	90.4	96.4	102.4			
		垂直(Hz)	60	72	75	80	85	90			
	High Color	水平(kHz)	67.1	81.0	84.5	90.4	96.4	102.4			
		垂直(Hz)	60	72	75	80	85	90			
	True Color	水平(kHz)	67.1	81.0	84.5	90.4	96.4	102.4			
		垂直(Hz)	60	72	75	80	85	90			
1920x1200	256	水平(kHz)	74.5	90.0	93.8	100.5	107.2	113.7			
		垂直(Hz)	60	72	75	80	85	90			
	High Color	水平(kHz)	74.5	90.0	93.8	100.5	107.2	113.7			
		垂直(Hz)	60	72	75	80	85	90			
	True Color	水平(kHz)	74.5	90.0	93.8	100.5	107.2	113.7			
		垂直(Hz)	60	72	75	80	85	90			
1920x1440	256	水平(kHz)	89.4	97.1	103.2	112.7	120.6				
		垂直(Hz)	60	65	70	75	80				
	High Color	水平(kHz)	89.4	97.1	103.2	112.7	120.6				
		垂直(Hz)	60	65	70	75	80				
	True Color	水平(kHz)	89.4	97.1	103.2	112.7	120.6				
		垂直(Hz)	60	65	70	75	80				
2048x1536	256	水平(kHz)	95.3	103.6	111.8						
		垂直(Hz)	60	65	70						
	High Color	水平(kHz)	95.3	103.6	111.8						
		垂直(Hz)	60	65	70						
	True Color	水平(kHz)	95.3	103.6	111.8						
		垂直(Hz)	60	65	70						

※ High Color = 65536色 True Color = 1677万色

※ 白黒反転表示されている周波数では、オーバーレイ表示を行えません。

※ 表記の解像度・周波数は予告無く仕様が変更される場合があります。特にモニタの対応周波数の限界に近い設定で表示しているような場合には該当する解像度・周波数が使用できなくなる場合があります。

※ 解像度一覧表はWindows XP環境のものです。Windows Me/Windows 2000環境では異なる場合があります。